

株式会社シダー

2017年3月期第2四半期決算説明会資料



いつも春の陽だまりでありたい...



会社概要 (2016年9月30日現在)

設立 : 1981年4月
本社 : 福岡県北九州市
資本金 : 4億3228万円
事業内容 : デイサービス
介護付有料老人ホーム
訪問看護
ホームヘルプサービス
ケアプラン
グループホーム
ショートステイ
福祉事業部 (H27.05開始)
(福祉用具レンタル・販売)
障害支援事業(H28.07開始)
(就労継続支援A型事業所・コインランドリー)

従業員数 : 1,821名(連結)

事業所数 : 101カ所



シダー本社ビル



目次

- 2017年3月期第2四半期決算概況
- 2017年3月期決算見通し
- 今後の事業展開
- 今後の課題

2017年3月期第2四半期決算概況

2017年3月期第2四半期 決算概況(連結)

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期(累計)	2017年3月期第2四半期(累計)		
			増減額	増減比
売上高	5,752	6,206	453	7.9%
営業利益	66	53	△ 12	△ 18.8%
経常利益	△ 65	△ 76	△ 10	—
当期純利益	△ 60	△ 69	△ 9	—

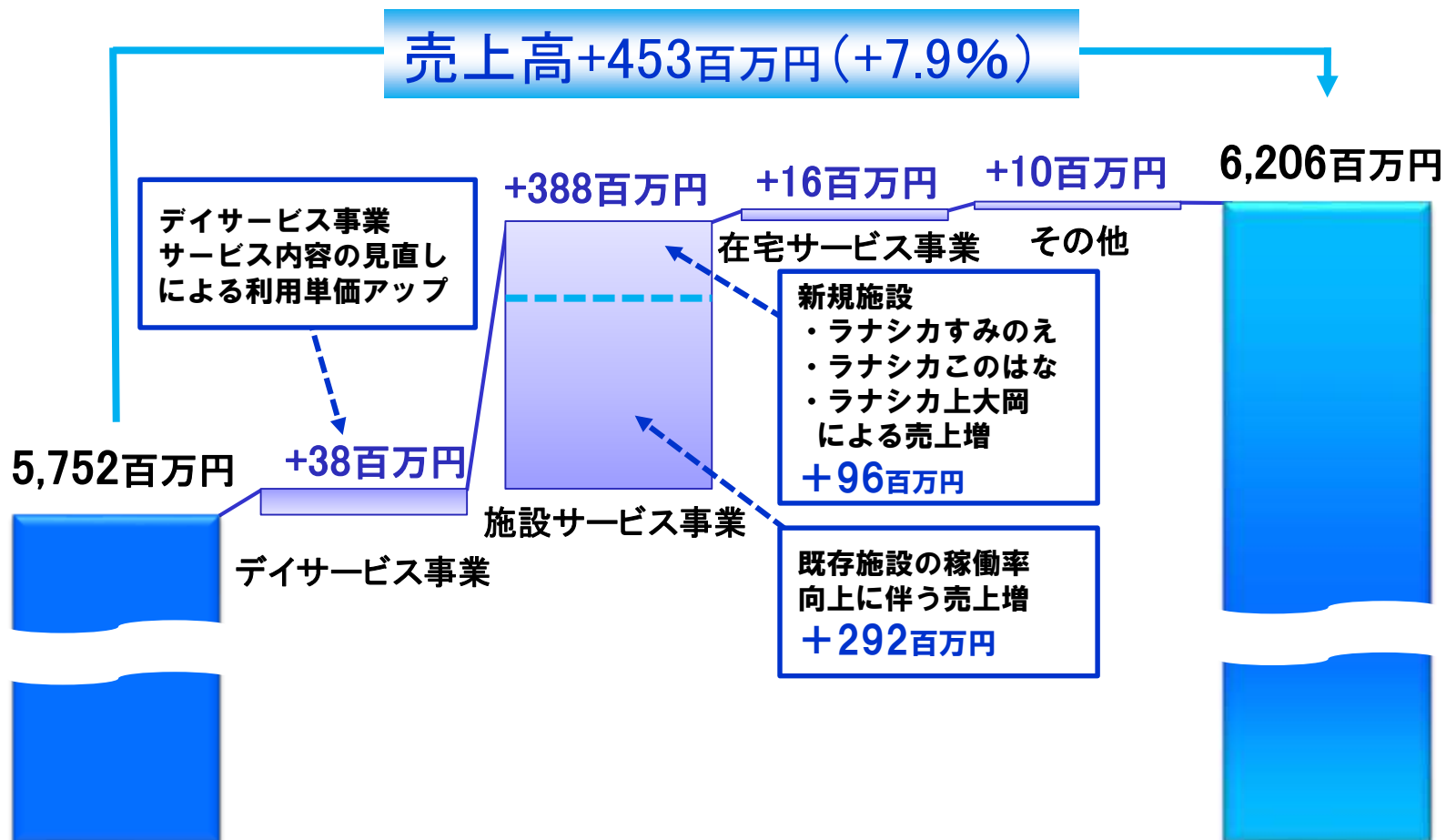
※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」

2017年3月期第2四半期 セグメント別売上高

(単位:百万円)

売上高	2016年3月期 第2四半期(累計)	2017年3月期第2四半期(累計)		
			増減額	増減比
デイサービス事業	1,659	1,697	38	2.3%
施設サービス事業	3,687	4,075	388	10.5%
在宅サービス事業	396	413	16	4.1%
その他事業	9	19	10	114.6%
全事業合計	5,752	6,206	453	7.9%

セグメント別売上高の主な増減要因



2016年3月期
第2四半期

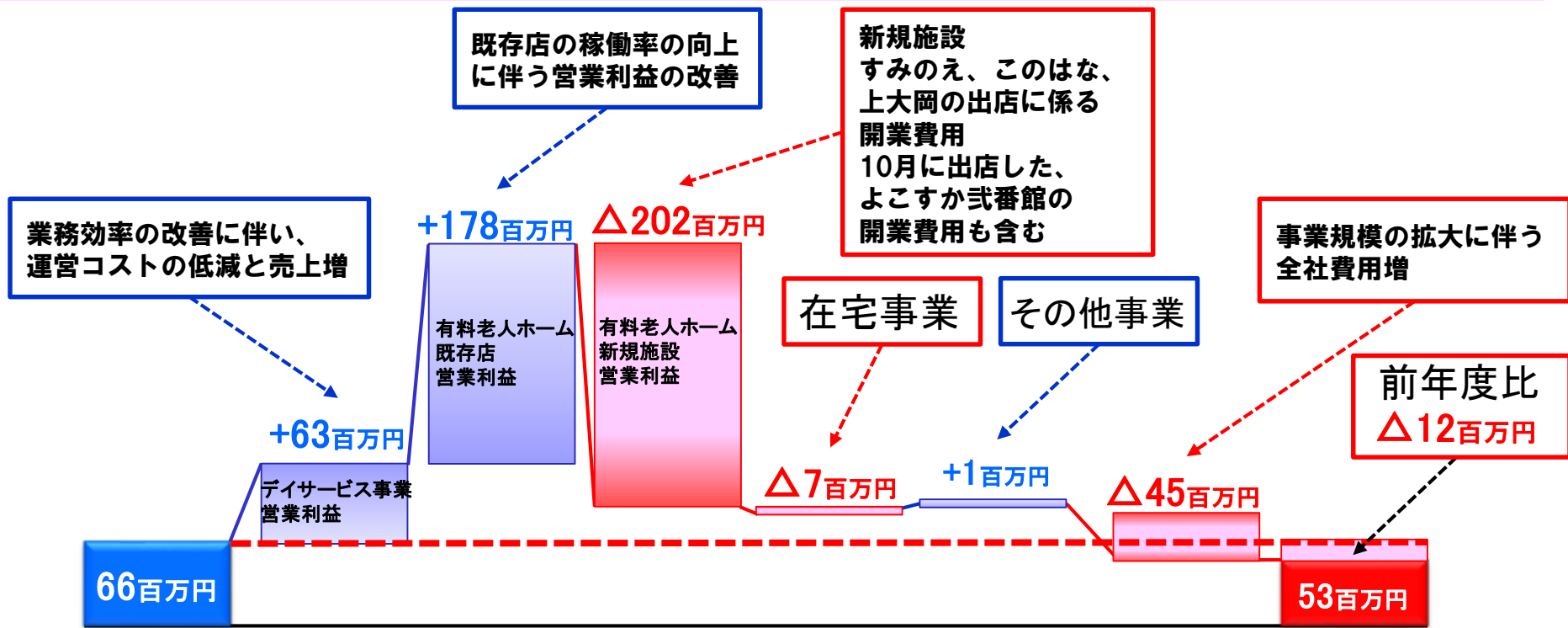
2017年3月期
第2四半期

2017年3月期第2四半期 セグメント別営業利益

(単位:百万円)

営業利益	2016年3月期 第2四半期(累計)	2017年3月期第2四半期(累計)		
			増減額	増減比
デイサービス事業	142	206	63	44.8%
施設サービス事業	280	255	△ 25	△ 9.2%
在宅サービス事業	△ 20	△ 27	△ 7	—
その他事業	△ 4	△ 2	1	—
全社費用	△ 331	△ 377	△ 45	—
全事業合計	66	53	△ 12	△ 18.8%

セグメント別営業利益の主な増減要因



2016年3月期
第2四半期

2017年3月期
第2四半期

デイサービス事業

2015年4月 介護報酬改定による影響

要介護者(7時間以上9時間未満の場合)

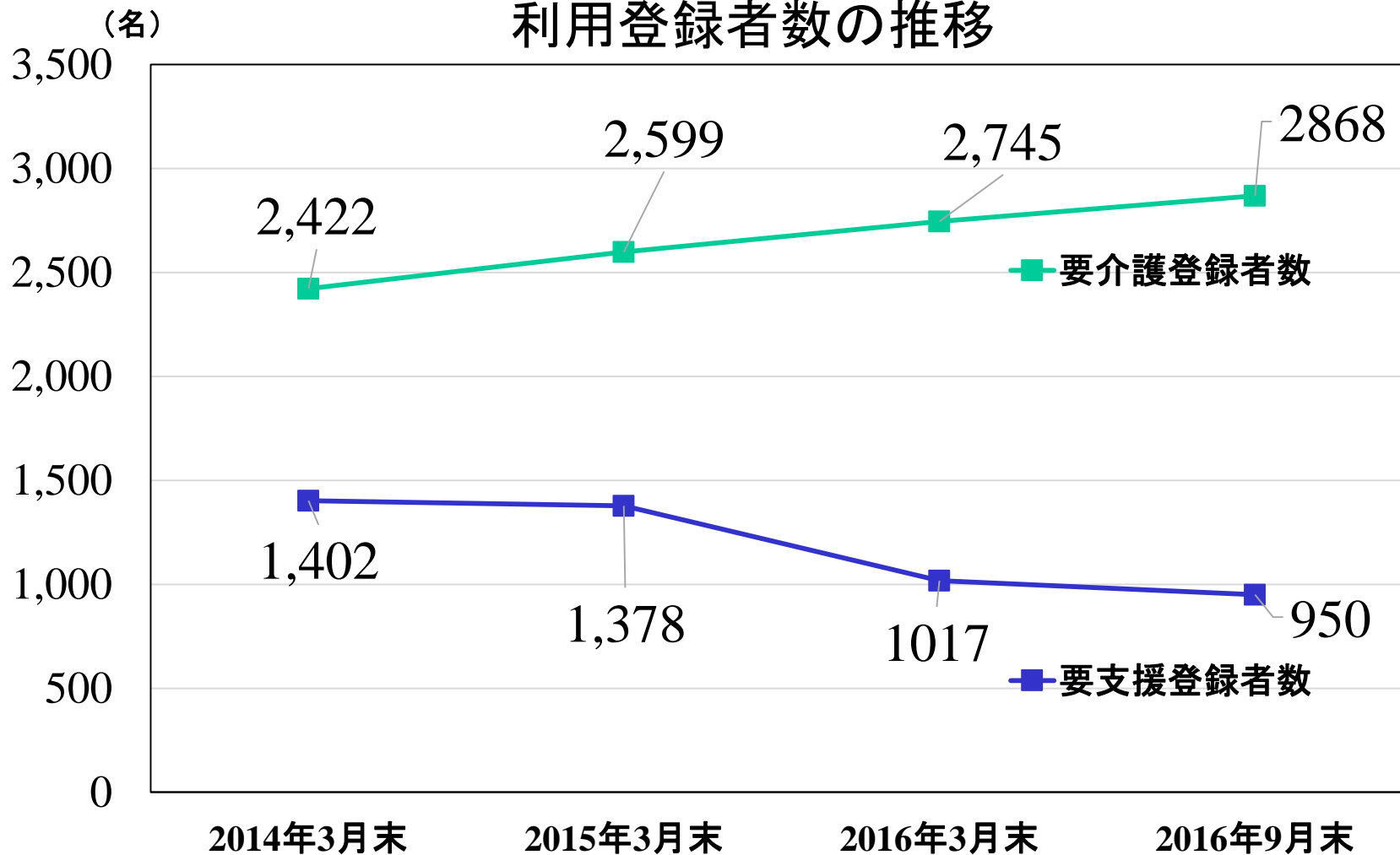
小規模型通所介護	8.8～9.8%の基本報酬減
通常規模型通所介護	4.4～5.6%の基本報酬減
大規模型通所介護(Ⅰ)	4.4～5.6%の基本報酬減
大規模型通所介護(Ⅱ)	4.5～5.6%の基本報酬減

要支援Ⅰ	2,115単位/月	→	1,647単位/月(22.1%減)
要支援Ⅱ	4,236単位/月		3,377単位/月(20.3%減)

要支援者Ⅰ・Ⅱの利用1名あたり合計単位数/月 約21.2%減

デイサービス事業

利用登録者数の推移



デイサービス事業

要支援者・要介護者の利用回数平均の推移

人／回	2014年3月	2015年3月	2016年3月	2016年9月
要支援(1～2)	7.2回	7.5回	6.0回	5.9回
要介護(1～5)	9.3回	9.9回	10.2回	10.0回

要支援者・要介護者の合計利用回数の推移

	2014年3月	2015年3月	2016年3月	2016年9月
要支援(1～2)	10,137回	10,279回	6,271回	5,701回
要介護(1～5)	23,106回	25,698回	27,848回	28,503回

要支援者・要介護者の利用単価の推移

1回あたり／円	2014年3月	2015年3月	2016年3月	2016年9月
利用単価	8,124円	8,180円	8,153円	8,252円

デイサービス事業

～総括～

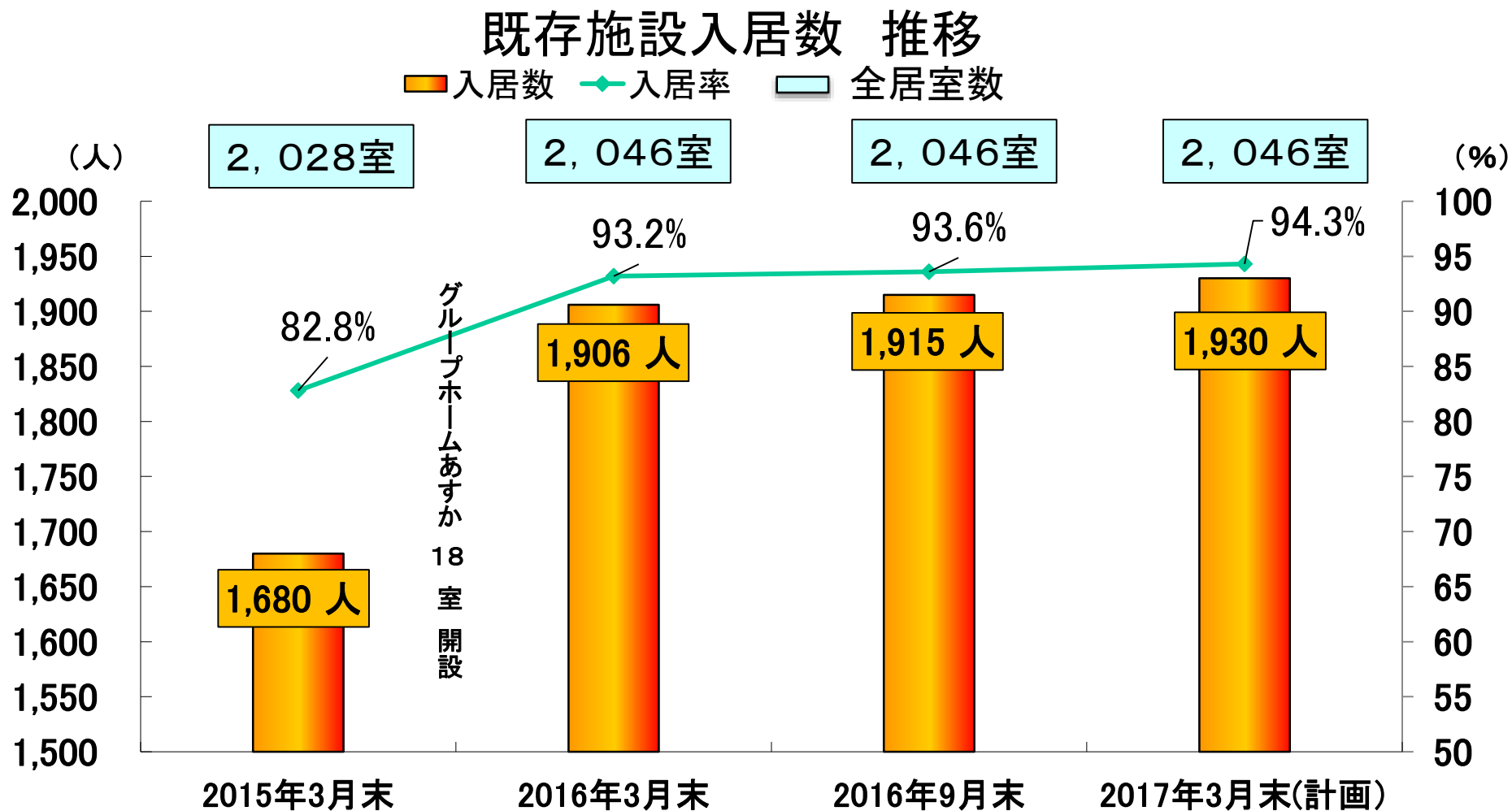
- ・要支援者 ⇒ 利用者に合わせ、適切な利用回数とサービス提供時間に変更
- ・要介護者 ⇒ 利用者獲得に注力し、平均利用回数を向上。

売上高については、1回当りの利用単価を下げず、収入をアップ。
売上利益については、職員配置のコントロールと運営コストの低減を図る。

セグメント決算概況

	2016年3月期第2四半期	⇒	2017年3月期第2四半期
売上高	1,659百万円	+38百万円 2.3%	1,697百万円
営業利益	142百万円	+63百万円 44.8%	206百万円

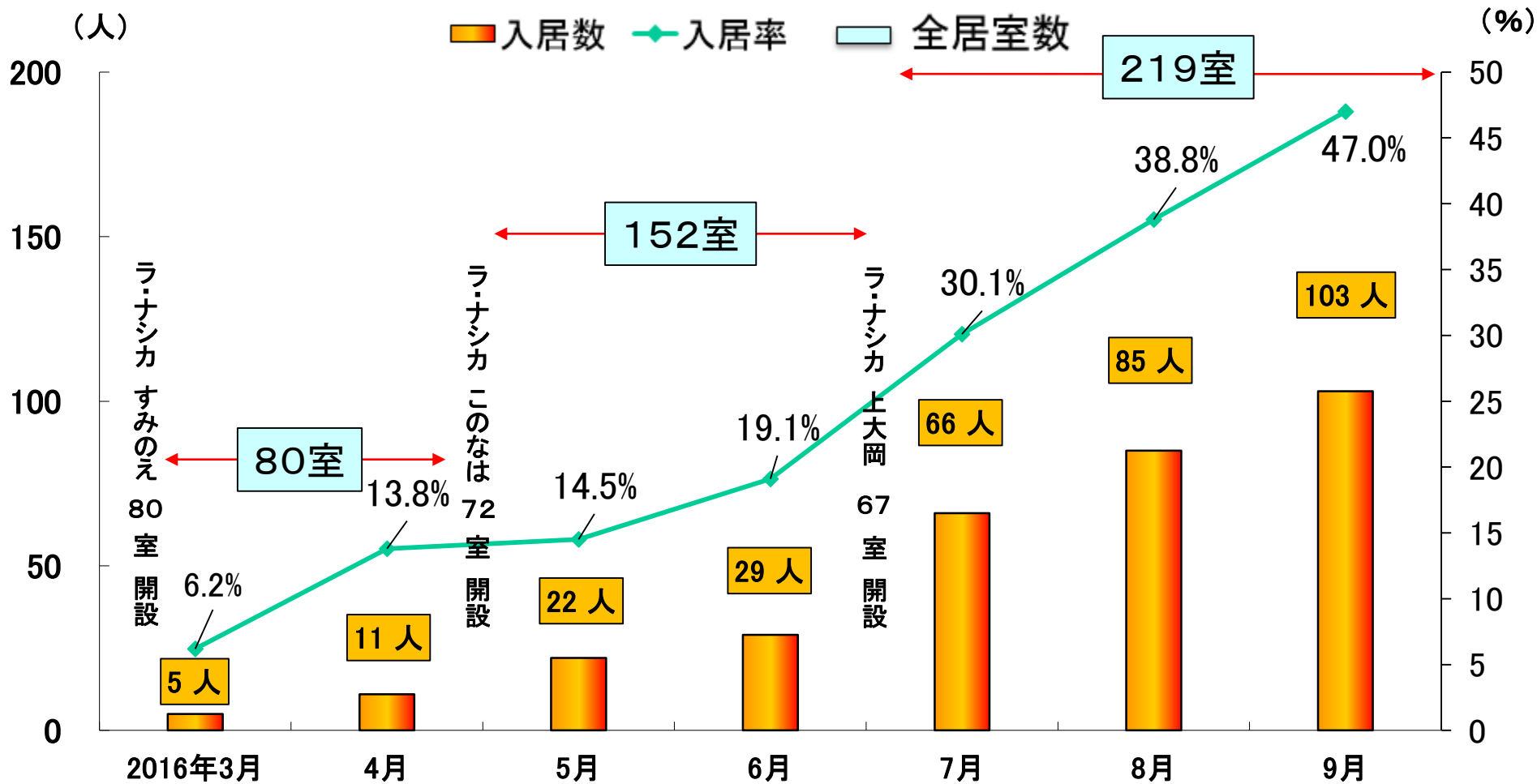
施設サービス事業



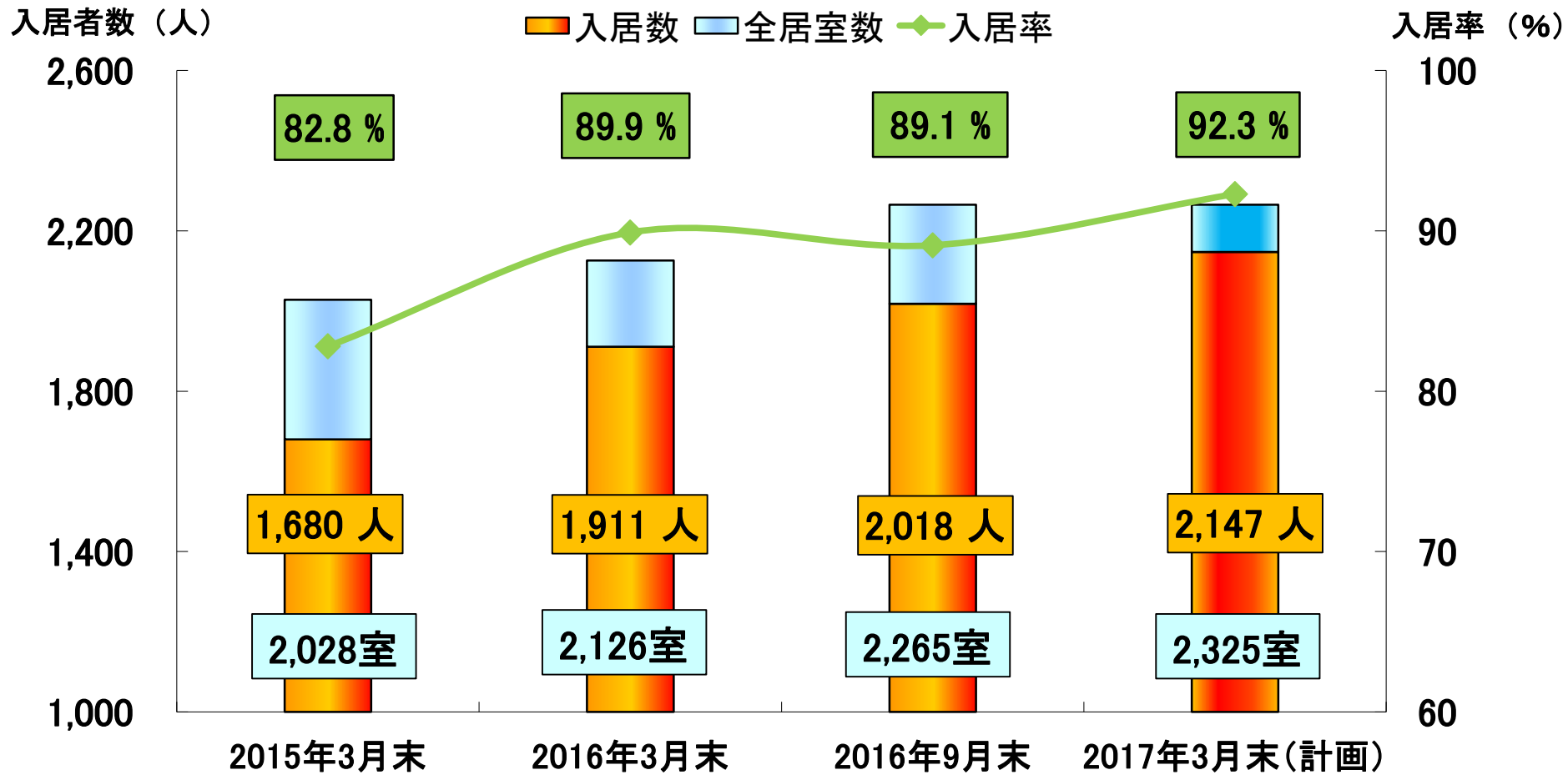
※既存施設とは開所より1年以上経過している施設です。

施設サービス事業

新規施設の入居数 推移 (開設1年未満の施設)



施設サービス事業



施設サービス事業

～総括～

売上高については、昨年度、低下した入居率を順調に引き上げており、さらなる上積みを目指す。

売上利益については、新規施設の開業費用を既存店の稼働率の向上による利益で吸収できなかった。

新規施設の来年度早期黒字化を図る。

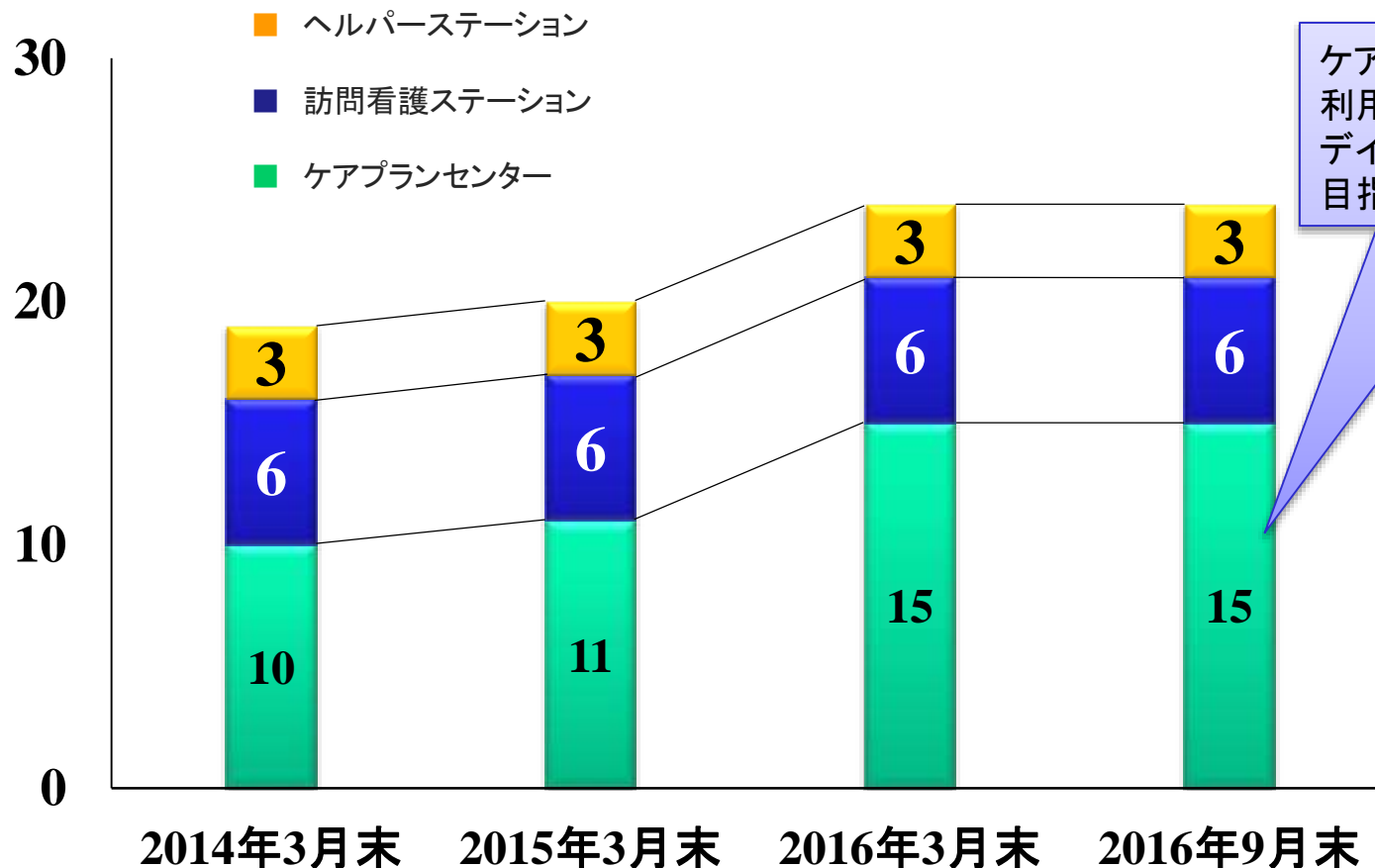
セグメント決算概況

	2016年3月期第2四半期	⇒	2017年3月期第2四半期
売上高	3,687百万円	+388百万円 10.5%	4,075百万円
営業利益	280百万円	△25百万円 △9.2%	255百万円

在宅サービス事業

在宅サービス事業所 推移

(施設数)



ケアプラン事業所を増設し
利用者の利便性の向上と
デイサービスの利用者増を
目指す。

2017年3月期決算見通し



2017年3月期 決算見通し(連結)

直近の業況をふまえ期初の業績予想を据え置きます。

(単位:百万円)

	2016年3月期 (通期)	2017年3月期 (通期)		
			増減額	増減比
売上高	11,731	12,793	1,062	9.0%
営業利益	335	196	△139	△41.5%
経常利益	70	△53	△123	—
当期純利益	9	△76	△85	—

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」



今後の事業展開



現在の拠点数

拠点数 101 施設

デイサービス	32施設
有料老人ホーム	39施設
訪問看護ステーション	6施設
ヘルパーステーション	3施設
ケアプランセンター	15施設
グループホーム	3施設
福祉用具販売	1施設
福祉用具レンタル	1施設
就労継続支援A型事業所	1施設

2017年9月30日/連結

福岡県

デイサービス15施設	グループホーム2施設
有料老人ホーム6施設	福祉用具販売1施設
訪問看護ステーション5施設	福祉用具レンタル1施設
ケアプランセンター7施設	就労継続支援A型事業所1施設
ヘルパーステーション3施設	

香川県

有料老人ホーム1施設

愛媛県

有料老人ホーム1施設
 デイサービス1施設
 ケアプランセンター1施設

山口県

デイサービス2施設
 訪問看護ステーション1施設
 ケアプランセンター1施設

岡山県

有料老人ホーム2施設

秋田県

有料老人ホーム1施設

山梨県

デイサービス2施設
 有料老人ホーム2施設

滋賀県

デイサービス1施設

長野県

デイサービス1施設
 有料老人ホーム4施設

北海道

有料老人ホーム3施設
 ケアプランセンター1施設



宮城県

有料老人ホーム1施設

茨城県

有料老人ホーム1施設

埼玉県

有料老人ホーム2施設

千葉県

デイサービス7施設
 有料老人ホーム4施設
 ケアプランセンター3施設

栃木県

有料老人ホーム1施設
 デイサービス1施設
 ケアプランセンター1施設

神奈川県

有料老人ホーム2施設

東京都

デイサービス1施設
 有料老人ホーム1施設
 グループホーム1施設

愛知県

有料老人ホーム1施設
 デイサービス1施設
 ケアプランセンター1施設

大阪府

有料老人ホーム4施設

静岡県

有料老人ホーム2施設



今後の事業展開 計画地域 (2017年9月30日現在)

開設

開設予定

公募申請中・申請予定



大阪府大阪市 72室
ラ・ナシカ このはな
2016年5月1日開設

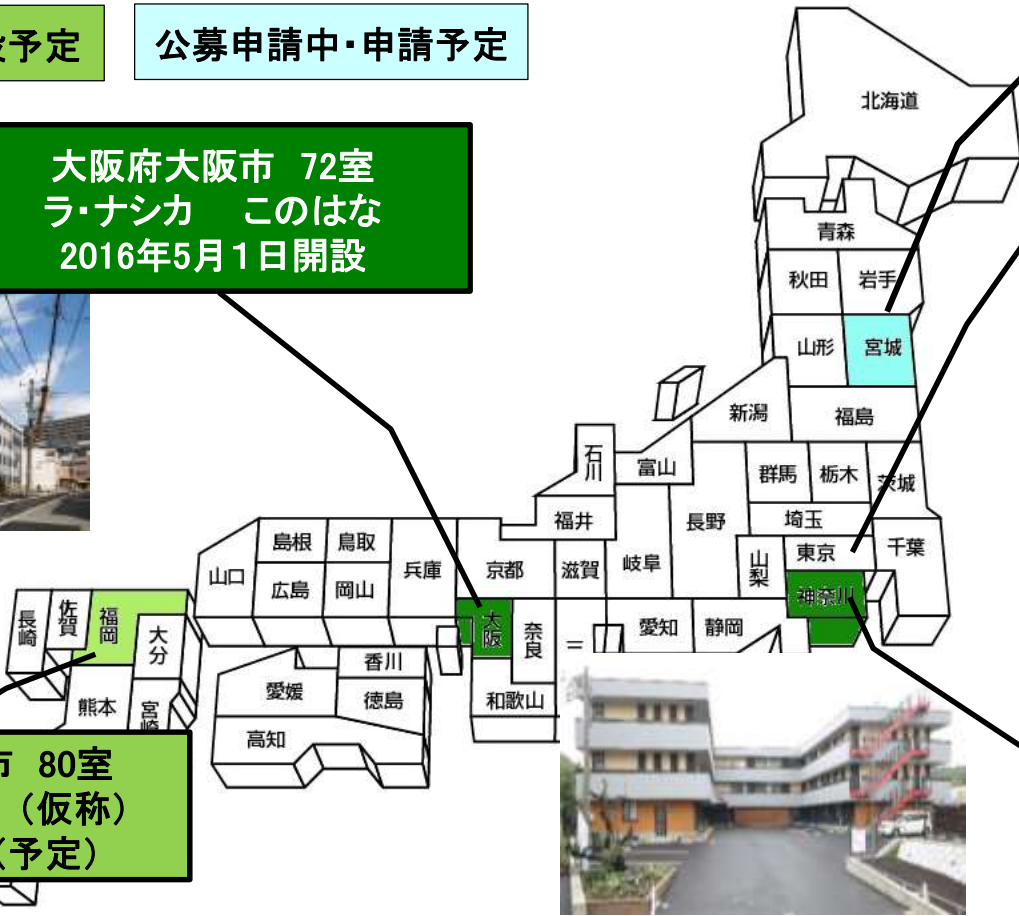
宮城県仙台市
公募申請中

神奈川県横須賀市 60室
ラ・ナシカ よこすか式番館
2016年10月1日開設



神奈川県横浜市 67室
ラ・ナシカ 上大岡
2016年7月1日開設

福岡県北九州市 80室
ラ・ナシカ こくら (仮称)
2017年7月1日(予定)



2018年3月までは新規事業は基本的に実施しません。
(2018年の介護報酬改定にそなえて)



今後の課題



介護人材について



CEDAR

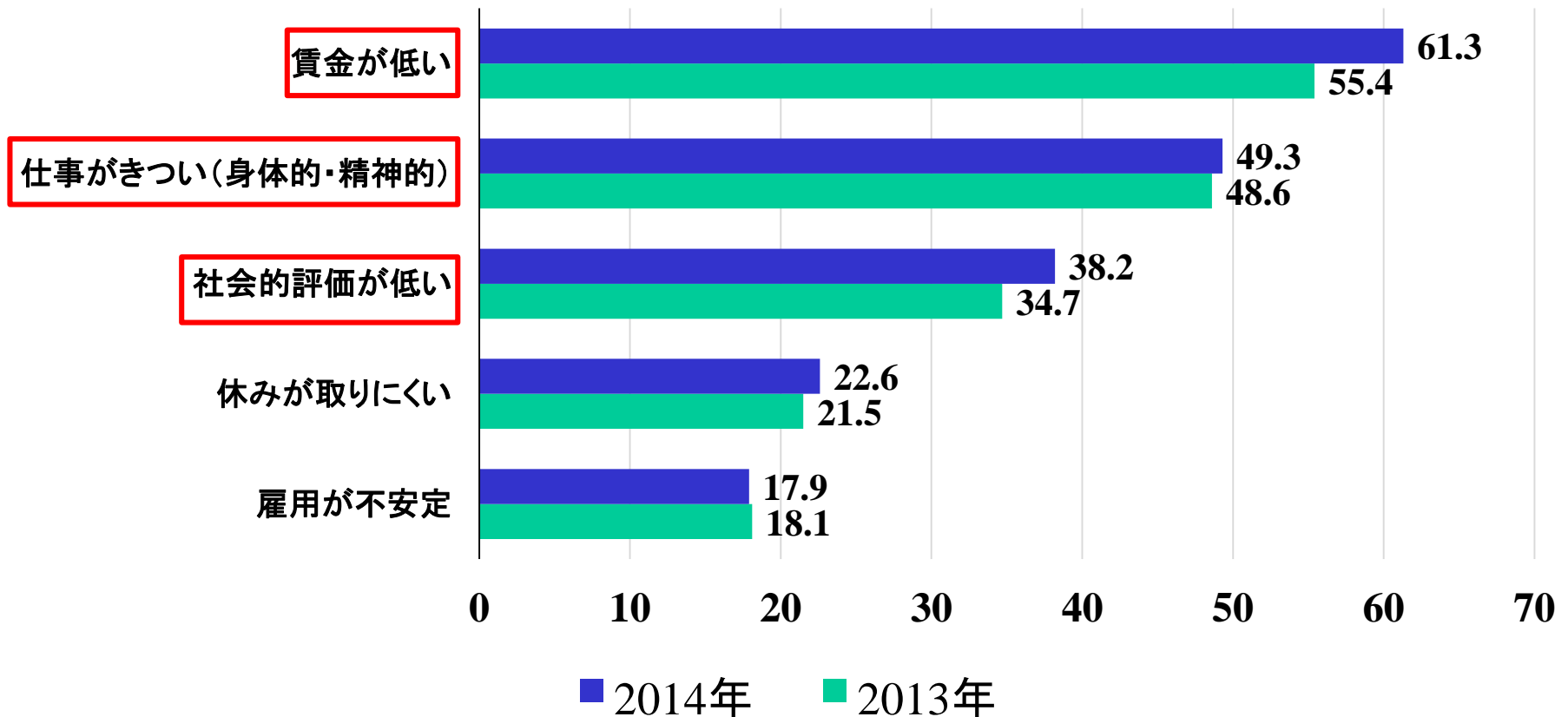
株式会社シダー

いつも春の陽だまりでありたい...



介護人材について

介護事業者が答えた介護職員の採用が困難主な理由(複数回答)



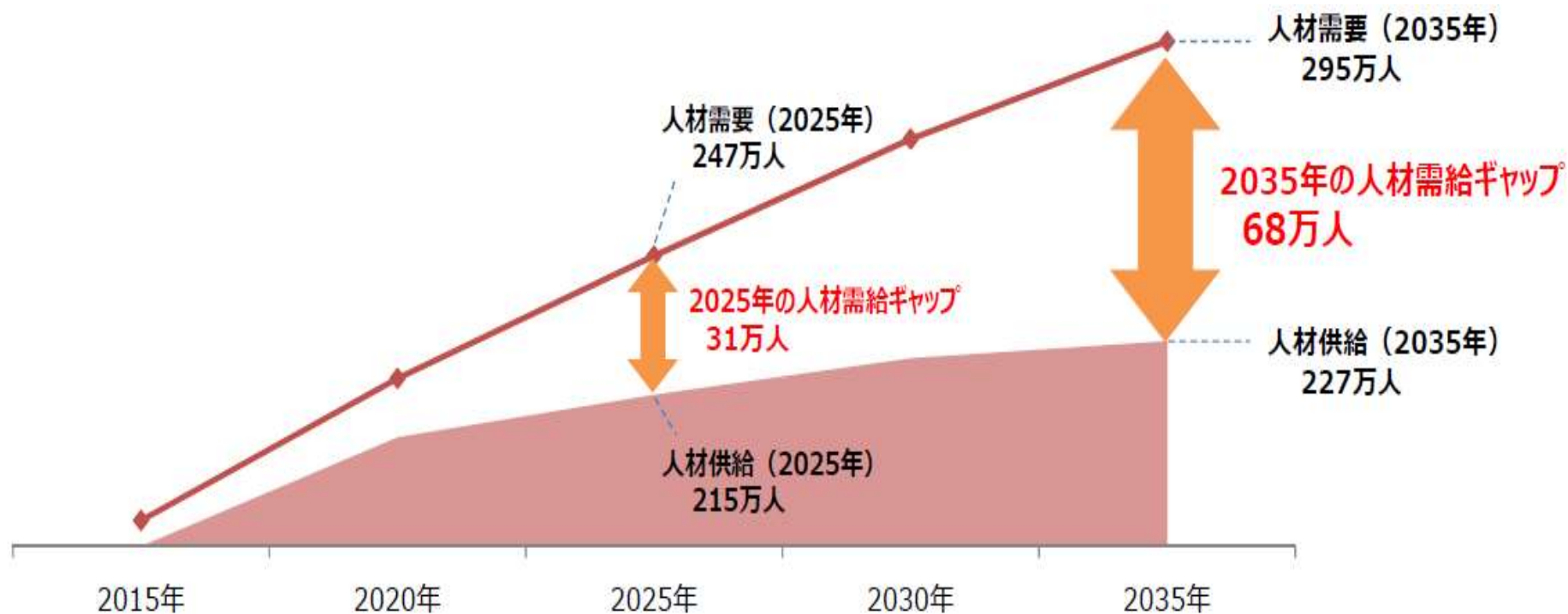
【賃金が低い】【仕事がつい】【社会的評価が低い】の回答が目立つ結果になっている。

出典:公益財団法人 介護労働安定センター【平成26年度 介護労働実態調査結果について】

介護人材について

2025年には31万人

2035年には68万人の介護職員の不足が見込まれております。



出典: 経済産業省 【将来の介護需要に即した介護サービスについて】

介護人材について

年間求人費用及び、離職率の推移

求人費用	金額(千円)	増加率	離職率
平成25年3月期	32,948	-	23%
平成26年3月期	66,655	202%	25%
平成27年3月期	86,826	130%	22%
平成28年3月期	85,870	99%	21%

離職率及び、職員の給料を改善する為にも給料体系の見直しを実施

- ・いままで、一定基準で昇給を行ってきたが、その人の能力により給料の査定を行う。
- ・介護の資格取得に伴う給与の手当て、時給額を見直し予定。

介護人材について

～資格取得に向けた講習や勉強会を実施～

年に1回社内にて介護職員初任者研修を実施

研修期間：月に4回

約6ヶ月で介護職員初任者研修の資格を取得

実務者研修の実施(予定)について 2017年4月より開講(予定)

実務者研修とは介護福祉士(国家資格)受験資格の1つです。

より多くの職員に研修を受けてもらうために、

社内にて研修を実施する予定です。

介護福祉士受験：**実務者研修の修了+3年以上の実務経験**

※2017年1月試験より

喀痰吸引等研修(第1・2・3号研修)の実施(予定)について

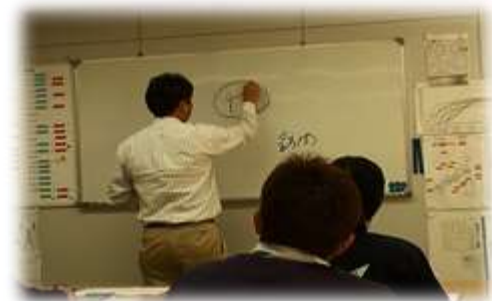
介護福祉士及び、一定の研修を受けた介護職員等は、

一定の条件の下にたんの吸引等の行為をすることが出来ます。

職員のサービスの向上や職員スキルアップが実施予定です。

2017年4月より開講(予定)

**実務者研修、喀痰吸引等研修については受講後には
給料に手当を支給することを検討。**



介護人材について

サービスの基本を研修し、サービスの向上を目的とした研修

入職時研修

- ・入職時オリエンテーション
- ・スキルアップ研修

サービス研修

- ・美化研修
- ・サービス研修
- ・各種勉強会

組織を運営していける人材の育成を目的とした研修

管理育成研修

- ・管理者研修
- ・副管理者研修
- ・リーダー研修
- ・サブリーダー研修

スキルアップ研修

- ・実務者研修
- ・介護福祉士受験対策
- ・介護支援専門員受験対策
- ・健康運動指導士
- ・社会福祉主事

段階的ステップアップできる環境を社内に導入しており、個人の頑張り次第で給料があがります。

また、各種資格の取得により別途に手当てを用意しております。

介護人材について

～介護職員の業務負担を減らす為に～

顔認証システムの導入(試験的に導入)

施設内、認知症高齢者の徘徊及び、
無断外出によるリスクを軽減する為、試験的に導入。

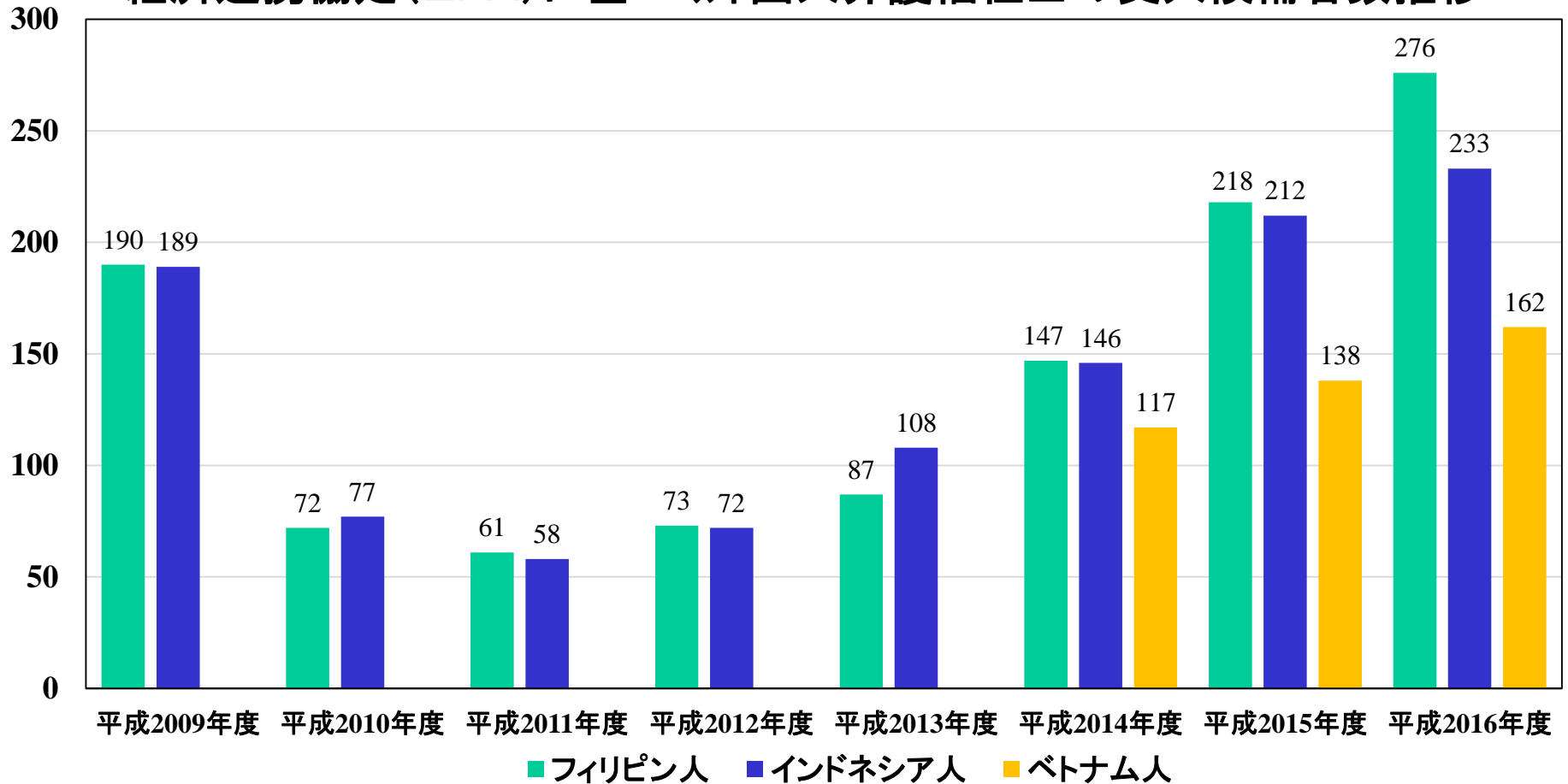
※無断外出時の早期発見の為、小型GPSの導入も検討中

介護現場にICT(Information and Communication Technology)を活用

入居者様の部屋に起床、離床、転倒、転落を感知するセンサー、
各種医療機器との連動する装置を導入し、サービスの向上や、
職員の業務負担軽減を現在、検討しております。

介護人材について

経済連携協定(EPA)に基づく外国人介護福祉士の受入候補者数推移



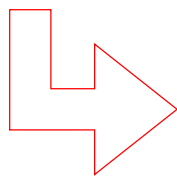
出典:介護福祉士候補者の受入れについて 厚生労働省ホームページ参照

介護人材について

介護の現場で働く外国人材を拡大するため、在留資格に「介護」を新設した、
【改正出入国管理・難民認定法】の成立。
働きながら技術を学ぶ技能実習制度を拡充する、
【外国人技能実習適正実施法】の成立。
実習期間を最長3年から5年に延長する。



この法律が制定後、EPAの枠組みにより来日していた人達と違う形で、
介護現場では研修または、働く外国人が増える予想



専門性、語学力等を配慮した
企業側の労働の提供及び、基盤作りが重要。

障がい者雇用への取り組み ～就労支援事業～

◎紹介元へのアプローチ

(特別支援学校・就労支援センター・職業訓練校・就労支援事業所・ハローワーク等)

◎実習の受け入れ

(特別支援学校・就労支援センター・職業訓練校・就労支援事業所等)

◎障がい者就労トレーニング事業所の設置(自社有料老人ホーム内)

- ①室内・浴室・外装・車両等の清掃等
- ②配膳・下膳・食器洗浄等
- ③ベッドメイキング・ゴミ回収・ゴミ出し等
- ④感染症対策(エアコンフィルター清掃・壁や手すり拭き上げ等)
- ⑤衣類チャック・仕分け等



雇用前にトレーニングを行い
スムーズな雇用を実現

○障がい者就労支援事業所設置運営計画



障がい者雇用への取り組み ～就労支援事業～

シダールの事業所
(有料老人ホーム・デイサービス)

スタッフユニフォーム等回収・洗濯・宅配

使用タオル等回収・洗濯・宅配

就労継続支援A型事業所 & コインランドリー
パイナップル1号店 平成28年7月1日開設

就労トレーニング後、
一般就職先として
シダールに就職。

施設外就労先として
介護周辺業務(清掃業務等)
の委託を受け、
就労者・職員を派遣。

就労トレーニング後、
一般就職先として就職。

シダールの障がい者雇用率: 1.46%

2.0%(目標値)

※平成28年10月1日現在

本資料の取り扱いについて

本資料は株式会社シダーの事業及び業界動向についての株式会社シダーによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確かさが内在しております。既に知られたもしくは今だに知られていないリスク、不確かその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シダーは将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、更に悪いことも有り得ます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2016年12月6日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社シダーにより2016年12月6日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません

2016年12月6日 株式会社シダー